

今年度最後のご挨拶

3/25

桜始開(さくらはじめてひらく)別れの季節。名残惜しいかのように卒業式はあいにくの雨。58名の卒業生が無事、一の宮小を巣立っていきました。一小で始まり一小で終わる初めての卒業生でした。そして昨日、198日間の令和3年度も終了。14日間の春休みに入りました。そして、今日、教職員異動の発表。出会いは別れのはじめなりといいますが、一期一会、子どもたちとの出会い、保護者の皆様との出会いを大切にしたいと思います。この一年間、皆様には学校の教育に対してご理解、ご支援をいただき誠にありがとうございました。感謝申し上げます。修了式に「あいさつ」、「大切」、「気持ちよい」のキーワードで話をしました。いつまでも子どもたちの心に残ってほしいと思います。さて、明日26日午後9時よりNHKスペシャル「新・映像詩里山(2)阿蘇の大草原～火山と生きる～」が放送されます。最後のシーンに卒業生が4年生の頃、野焼き体験をしたときの様子がでてまいります。ふるさと阿蘇を見つめるよい時間です。お時間ありましたら、どうぞごらんください。長らくお届けしましたこのメールもこれが最後です。一の宮小の子どもたちが健やかに成長することを祈念して、お別れのご挨拶といたします。

一の宮小学校 校長 井正文